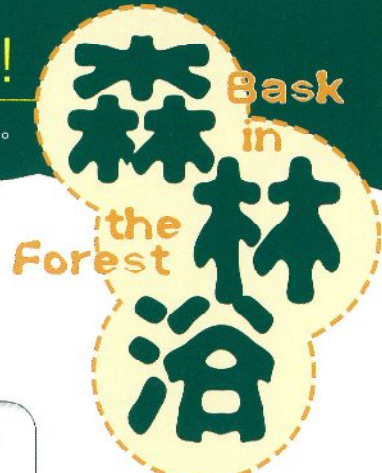


おおらかな自然に抱かれて、さあ元気に歩こう!

【癒しの道・南飛驒森林浴回廊 21】 自然の不思議や、めずらしい生き物にきっと出会える。



コース
23

下呂温泉ウォーキングコース 湯ヶ峰登山道



登山道は何本もあり、最も手軽なのは、山頂近くの林道を利用するコースで山頂まではわずか10分。
頂上を経て湯壺跡経由で周回もできる。



■下呂温泉のシンボル湯ヶ峰
今からおよそ10万年前に噴火した火山で、地下のマグマが下呂温泉の熱源であることも分かってきました。市街地に向けた西側の斜面が大きく崩れ、荒々しい岩肌が特徴です。

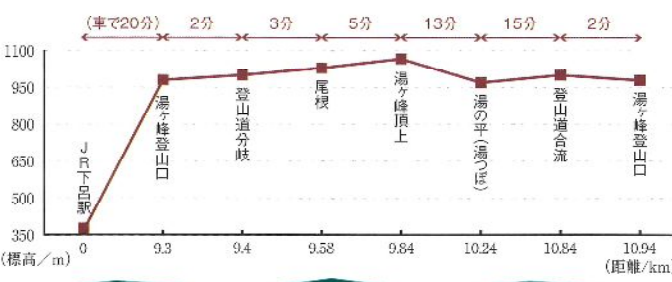


■突しりとして用いられた下呂石の原石
カラカス角閃岩母流紋岩と呼ばれ、縄文時代に石器の材料として下呂市内はもちろん、中部地方や一部は関東や関西にまで広く流通していたことが分かっています。

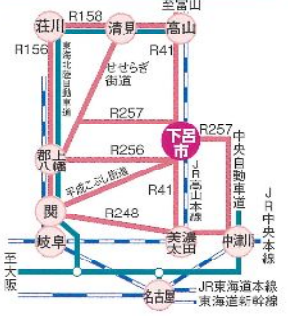


■湯つぼ跡と伝えられるくぼみ
湯つぼと呼ばれる場所には、昔温泉が湧きたし、湯治客で賑わったという言い伝えが残っています。

- コースの特徴 登山道入口から5分ほどで尾根へ。木立の中、阿寺山系の山々を左に見ながら5分ほど歩くと湯ヶ峰頂上に。
- コースの見所 下呂市、下呂の眺望
- バックアップ施設 駐車場(登山道付近に広場がある)
- 行程



そのがたり
下呂温泉のルーツ
湯ヶ峰には湯壺跡がある。そこは普通温泉が湧きだし、湯治客で賑わったと言いう言い伝えが残っている下呂温泉のルーツ。
また、縄文時代に石器の材料として使われていた下呂石(カラカス質黒雲母流紋岩)の産地であり、下呂石は岐阜県、愛知県を中心に、東は群馬県静岡岡県、西は滋賀県から三重県、北は新潟県まで運ばれている。



アクセス
 ■中央道中津川 IC→R257→R41→下呂→登山口
 ■JR高山本線 下呂駅→タクシー→(20分)→登山口

